

中期経営計画Phase2 《磨くステージ》

ダイダンは、長期ビジョン＜Stage2030＞のPhase2にあたる本中期経営計画期間を《磨くステージ》と位置付け、人材戦略を基盤として企業価値の向上を目指してまいります。長期ビジョンに基づく3つの基本方針の下、戦略を策定し、各施策に取り組んでいます。

経営方針

＜人材戦略を基盤とした人づくりの実現により企業価値を高める＞

戦略概要

人材戦略
信頼される人と組織の深化 - 働き方改革を推進し、従業員が意欲的に仕事に取り組める組織風土を実現する - 採用数を増やし、適切な経験を積むための研修とローテーションを実施し、従業員がより活躍できる仕組みを構築する
事業戦略
快適・最適な空間の提供 - 国内では、採算性を重視した受注を実施するとともに、オフサイトから施工現場に対するサポート強化により生産性向上を実現する - 海外では、工事大型化によるリスク管理を徹底した上でさらなる事業拡大を目指すため、国内側からの支援・連携を密にする
サステナビリティへの取り組み
豊かで持続可能な社会への貢献 - 事業を通じて環境負荷を減らし、社会への責任を果たすことで、持続可能な社会の実現へ貢献する - コーポレートガバナンスを充実し、長期的な企業価値向上を実現できる企業基盤を築く

4つの事業領域

中期経営計画Phase2期間では4つの事業領域に注力し、業績目標の達成を目指します。

空調衛生工事 ……収益の基盤となる事業 - 採算性を重視した受注活動の実行 - 将来の収益基盤となる建物ストックの獲得 - 工場・データセンター等の産業施設工事による技術力強化	海外事業 ……成長を牽引する事業 - 事業拡大に向けた国内外の営業強化 - ローテーションによるグローバル人材の育成 - 工事大型化に伴うリスク管理の徹底
電気工事 ……変革する事業 - 電気技術者の採用強化 - 技術者の全国規模での流動的な配置 - 技術者育成につながる大型の電気工事の受注拡大	再生医療事業 ……新たな収益源を目指す事業 - 製薬会社と連携した、がん免疫細胞の市販薬製造受託 - 自由診療向け細胞など新たな細胞製造の受託 - 業務提携による受託先の拡大

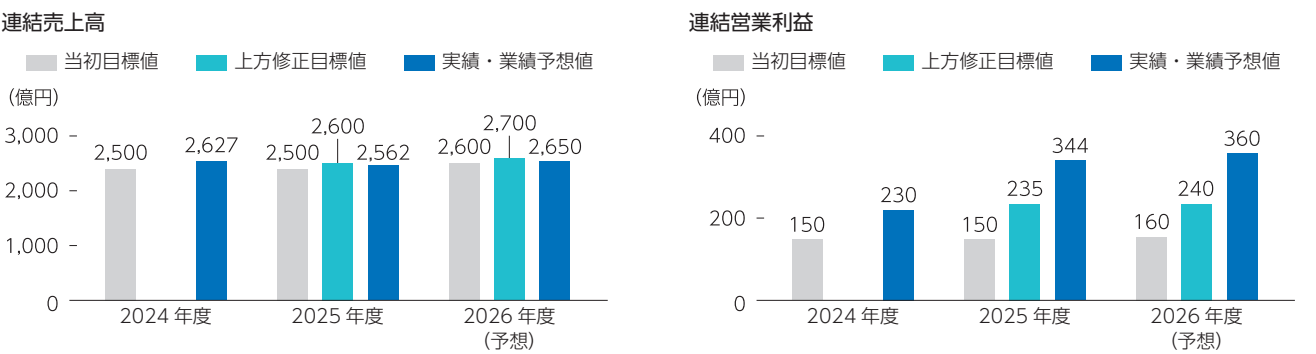
《磨くステージ》最終年度（2026年度）業績予想

連結売上高：2650億円	連結営業利益：360億円	ROE：19.8%
--------------	--------------	-----------

《磨くステージ》進捗状況について

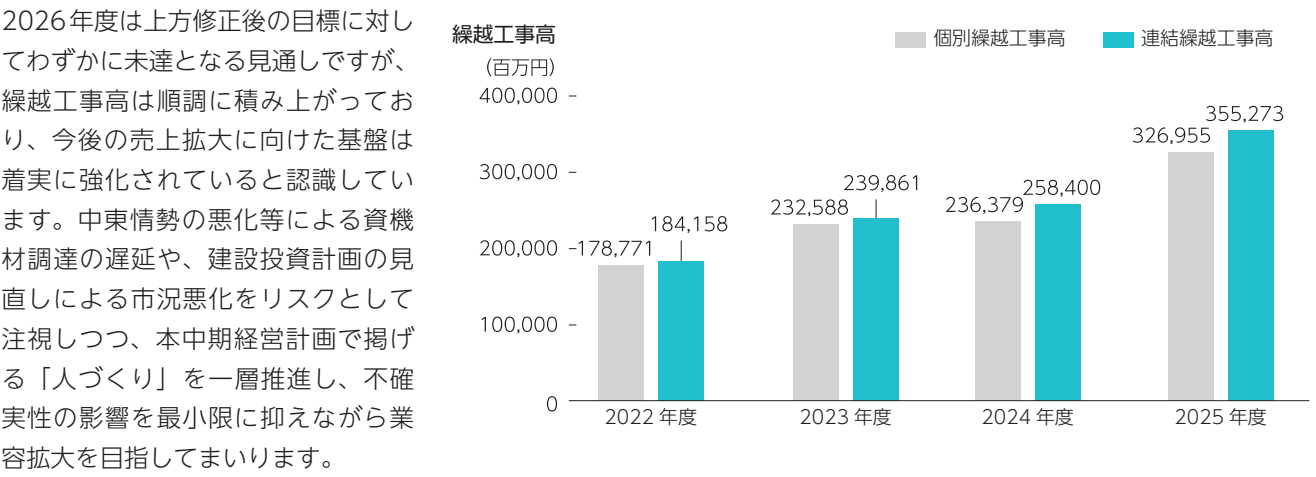
中期経営計画Phase2初年度の2024年度は、連結売上高・連結営業利益ともに当初目標を大きく上回りました。特に連結営業利益は最終年度目標の160億円を大きく超える230億円となったことを受け、2025年5月9日付で中期経営計画目標を上方修正いたしました。

2025年度は、連結売上高が上方修正後の目標を若干下回った一方、連結営業利益は同目標を上回り達成しました。Phase2最終年度となる2026年度も、連結売上高目標の達成に向けて取り組むとともに、連結営業利益は目標を大きく上回る水準の確保を目指してまいります。



《磨くステージ》に対する進捗評価

データセンターや工場を中心とした旺盛な建設需要を背景とする良好な受注環境を当社として戦略的に捉え、着実に成果へつなげています。加えて、資機材価格上昇分の適切な価格転嫁に加え、施工効率化に向けた各種取り組みが奏功し、収益力の向上につながっています。一方、売上高は工事進捗のタイミングや施工余力の制約により、現時点では



次期中期経営計画Phase3 《輝くステージ》に向けて

Phase3に向けて、引き続き「人づくり」を中核に据え、Phase2で積み上げた繰越工事高を基盤として、さらなる成長を目指してまいります。採用の強化と育成投資の継続により施工力を拡充し、建設需要が拡大している産業分野の大型工事案件に対して、空調衛生工事における対応力を一層強化してまいります。あわせて、電気工事においてもデータセンター案件への取り組みを拡大し、総合的な提案力の向上につなげてまいります。

また、国内設備工事業に加え、新たな収益基盤の形成に向けて、海外事業および再生医療事業の強靱化に向けた取り組みも継続し、Phase3における収益拡大につなげてまいります。